

# 衆議院小選挙区選出議員選挙(大分県第 区)

## 選挙公報掲載文原稿用紙

|       |    |           |        |    |
|-------|----|-----------|--------|----|
| 候補者氏名 |    |           |        |    |
| 連絡責任者 | 氏名 |           |        |    |
|       | 住所 | 市<br>郡    | 町<br>村 | 番地 |
|       | 電話 | (       ) |        |    |

**物価高、国民の悲鳴に耳を傾けよ!**

**実質賃金はマイナス** 大手企業が中心の名目賃金上昇も、輸入物資高騰による物価上昇に追いつけず、実質賃金はマイナスのままです。買い物する度に実感する諸物価の高騰に国民は悲鳴を上げています。今最優先すべきは「物価高対策」です。

**アベノミクスは国民生活を苦しくすると警告** 私は8年前の2016年12月執筆の「きらきら広報15号 アベノミクスと私たちの暮らし」の中で、「異次元金融緩和策は円安により輸入物資を高騰させて物価高を招き、国民の生活を苦しめるだけだ」と警告していました。

**自民党政権はいったい何をやっていたのか!** 資源・エネルギー、食料を輸入に頼る日本が過度な円安に直面すれば、電気、ガス、ガソリン、食料・食品など輸入系の生活必需品が大幅に値上がりして、一般国民の生活が苦しくなることは、8年前から明らかだったことです。自民党政権はいったい何をやっていたのか! 物価高に苦しむ国民の悲鳴に耳を傾けよ!

**物価高対策、一例としてのガソリン高対策** 物価高の根本的解決策は、自民党的「業界優先政治」から「生活者優先政治」への転換です。ガソリン高対策を例に取れば、業界優先の自民党的政策は「石油元売り業界への補助金」です。しかし、補助金金額が消費者に還元されている保証はありません。そして、元売り業界は毎年自民党に5000万円献金しています。業界関係会社はパーティー券を購入しています。因みに、街中のガソリンスタンドは元売り会社や補助金政策に抗いようがなく、悲鳴をあげる消費者と毎日接し、売上・利益も伸び悩む被害者です。一方、生活者優先政治の政策は、リッター25.1円の暫定税率乗せ分を停止し、そっくりそのまま消費者に還元します。生活者の可処分所得を増やすことが最優先だからです。生活者主権政治こそが物価高対策の主役です。 吉良州司

**吉良州司の理念と基本政策**

- 「生活者主権の国創り」「将来世代優先の政治」「国民一人ひとりの幸せ感を追求する政治」
  - 1) 自民党的「業界優先政治」から、「生活者主権政治」へと大転換。物価高対策にも資する
  - 2) 子どもへの投資、大胆な子育て家計支援。政策判断は常に将来世代のためになるかを基準
  - 3) 自民党的表面的「経済成長至上主義」から「国民一人ひとりの幸せ感を追求する政治」へ人口減少が進む中、マクロ経済数字拡大には限界があり、国民、将来世代一人ひとりの豊かさ、幸せ感を追求
- 国民の命と健康と生活を最重視する政治
  - パンデミック時、災害時など危機に強い医療制度構築、緊急時に困窮する国民と事業者への支援の強化・迅速化
- 幼児教育、学校教育、社会人の学び直しなど、生涯を通じた教育の充実と人財育成
- 地方の元気で、真に豊かな日本を創る
  - 地域・地方が主役の国創り。国の権限、財源、一部課税権、生活分野の法律制定権を地域・地方に移譲
- 5つの安全保障の確立(国防、エネルギー安全保障、食料安全保障、命と健康、防災)
- 国際協調主義と独立自尊主義を共生させる現実的外交
- 生活者目線の物価高対策。家計所得を最大化し、個人消費を増大させての成長経済
  - 金利や量的緩和の適正化など生活者優先の経済・金融政策。賃金上昇と物価高対策で可処分所得拡大
- ものづくり重視、資源小国日本の厳しさを直視した現実的産業政策とエネルギー政策
- 科学技術立国(基礎研究投資、宇宙・環境・生命科学分野等の振興、核融合発電推進)
  - 科学技術力で新規分野開拓と既存産業の振興と国際競争力向上。ノーベル賞を狙える研究者育成
- 誰もが、何度失敗しても何度でもやり直せる活力ある社会の実現
  - 厚いセーフティーネット構築を含む社会保障の充実。特に失業時の生活保障と学び直し支援の強化

吉良州司

無所属

吉良州司プロフィール

1958年～大分県生、大分市立津留小学校入学、大分市立城東中学校卒業  
 1976年 大分舞鶴高校卒業  
 1980年 東京大学法学部・第III類(政治コース)卒業  
 1980年～2002年 総合商社日商岩井に22年間勤務。ブラジル留学、大分県庁出向、電力プロジェクト部、日商岩井米国会社ニューヨーク本社インフラPJ部長  
 2003年 4月大分県知事選惜敗 11月衆院選・無所属で初当選後3期連続小選挙区当選  
 2009年～外務副大臣、外務大臣政務官、民主党政調会・外務部門長・防衛部門長等歴任  
 2014年～外務委員、経済産業委員、文部科学委員、科学技術特別委員等  
 2021年～小選挙区当選後、自民党候補に勝った無所属議員と「有志の会」結成、代表に初当選以降 小選挙区5回当選、九州比例区1回当選 現在6期目

各論と詳細は吉良州司のHPへ  
<https://kirashuji.com>

※欄は記入しないでください

| ※受付日時 | ※受付番号 | ※受 付 者 |
|-------|-------|--------|
|       |       |        |

大分県選挙管理委員会